



平成 29 年 5 月 31 日
国土交通省中部地方整備局
四日市港湾事務所

「みなとオアシス志摩」の登録証交付式を開催します

～魅力ある「海ほおずき」を中心として賑わいや交流・防災の拠点に～

【概要】

「みなとオアシス」とは、「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設として、国土交通省港湾局長が登録する制度です。今般、三重県志摩市（浜島港及び賢島港）からの申請により、賑わいや交流促進等に資するものとして、中部地方整備局管内で8番目となる「みなとオアシス志摩」が6月2日（予定）に新規登録されることとなりました。

については、登録証交付式を浜島海浜公園で6月3日（土）に開催予定の「伊勢えび祭」の式典の場で行います。（中部地方整備局副局長より志摩市長に登録証を手渡します。）

※「みなとオアシス志摩」の概要については別紙－1、2、「みなとオアシスの概要」については別紙－3を参照ください。

【登録証交付式】

日時：平成29年6月3日（土）14:50～15:00（伊勢えび祭式典14:00～14:50の後）

場所：浜島海浜公園（荒天により伊勢えび祭が延期となった場合は、志摩市役所5F庁議室にて開催します。）

※会場位置は次頁をご覧ください。

【取材について】

取材にお越しいただける場合は、別紙取材申込書を送付願います。

【配布先】

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、三重県政記者クラブ、津市政記者クラブ、伊勢記者クラブ、鳥羽志摩記者クラブ、港湾新聞社、港湾空港タイムス、日本海事新聞社、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

【問い合わせ窓口】

国土交通省 中部地方整備局 四日市港湾事務所

企画調整課長 高野(たかの)、前任建設管理官 佐藤(さとう) TEL 059-359-0510



【会場位置】



【会場位置(拡大図)】



※参考(昨年度の行事案内図)

第56回伊勢えび祭当日の交通規制

2016年6月4日(土) 雨天5日(以後中止)

道中踊りコースから海ほおずき区間(消防詰所～定期船発着所)は、
午後5時から9時30分まで前面通行止めとなります。

県道浜島阿児線は町中が込み合いますので、
 松山路より浜島阿児線バイパスのご利用をお勧めいたします。



*臨時駐車場について

旧浜島小学校、B&G海洋センター、公共埠頭、水産技術センター、魚市場横物揚場を臨時駐車場に予定しています。

例年、早い時間帯に満車となりますので、ご注意ください。

*祭終了時間に合わせて臨時のバスが運行予定です。(浜島バス停 → 鵜方駅)

当日は会場周辺で交通規制が予定されていますので、公式HPで詳細をご確認願います。

URL <http://www.iseebi-onsen.com/iseebi/index.html>

取材申込書 (FAX:059-359-0513)

1. 日時 平成29年6月3日(土) 14:50~15:00

2. 集合場所

登録証交付式までに浜島海浜公園にお集まりください。

3. 注意事項

- 荒天や災害等発生時には、止むを得ず中止・延期する場合がございます。
- 中止・延期が決定した場合、当日8:30までにご連絡差し上げます。

※必要事項をご記入のうえ、FAXでお申し込みください。

(平成29年6月2日(金) AM11:00 締切)

御社名		
取材代表者氏名		
人数	人	
延期・中止の際の連絡先	氏名	
	連絡先	

【担当】

四日市港湾事務所 前任建設管理官 佐藤

TEL 059-359-0510

FAX 059-359-0513

「みなとオアシス志摩」の概要



【浜島港及び賢島港のあらまし】

志摩半島は、昭和21年(1946年)に伊勢志摩国立公園の指定を受けており、日本の原風景ともいえる美しい自然などが評価され、2016年5月26日・27日には、主要国首脳会議（サミット）が開催された。

半島の南端には真珠養殖で有名な英虞湾^{あごわん}を有し、その湾口に位置する浜島港は、リアス式海岸の天然の良港であるとともに、景勝地である奥志摩の観光拠点となっている。

湾奥にある賢島港は、陸路との交通の便から伊勢志摩リゾートの中核に位置づけられており、志摩周遊、英虞湾一周観光船が行き交うなど、当該地域における海洋観光の拠点となっている。

【取組内容】

浜島港では、代表施設である「海ほおずき」を交流ならびに情報発信の拠点とするとともに、各種イベントを通じて地域の活力づくりを促進する。また、耐震強化岸壁を災害時の物資支援拠点として活用する。

賢島港では、駅からの利便性や知名度を活かし、みなとオアシス初のサミット開催地をセールスポイントとして、訪日外国人を含む幅広い層の観光客を取り込むとともに、市民との交流を促進する。

合わせて、両港を結ぶ定期連絡船を活用することで地域間交流を強化し、2港一体で英虞湾全体の魅力向上・活性化を推進する。

【施設の概要】

○代表施設

【浜島港】海ほおずき（浅磯・漁業体験施設、学習体験施設）

○構成施設

【浜島港】耐震強化岸壁、定期船乗り場、浜島海浜公園

【賢島港】円山公園、定期船乗り場、市営駐車場

○イベント等

浅磯・漁業体験、伊勢えび祭、里海トライアスロン、伊勢志摩ツーデーウォーク、賢祭、真珠供養祭など

【施設概要図】みなとオアシス志摩



みなとオアシスの名称	みなとオアシス志摩
みなとオアシスの設置者	志摩市(市長:竹内千尋)
みなとオアシスの運営者	志摩市
所在する港湾の名称	賢島港(地方港湾)・浜島港(地方港湾)
港湾管理者	三重県



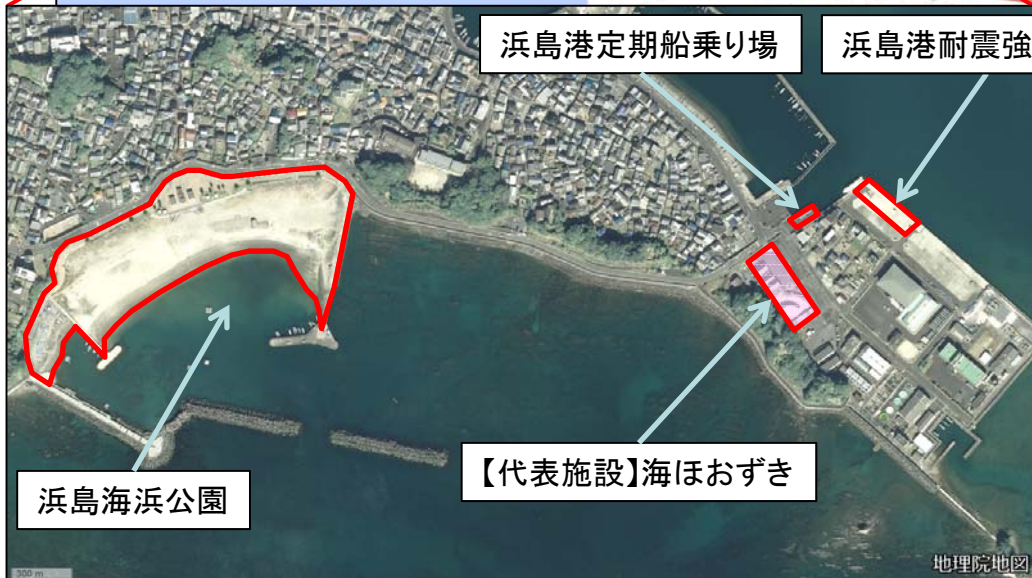
【主なイベント】



伊勢えび祭り(6月)



里海トライアスロン(7月)



「みなとオアシス」の概要

○「みなとオアシス」とは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設として、国土交通省港湾局長が登録したものをいう。

○ 全国96箇所の「みなとオアシス」を登録。

機能

- 地域住民、観光客、クルーズ旅客等が交流及び休憩できる機能
- 地域の観光及び交通に関する情報の提供機能
- その他(災害支援機能、商業機能等)

設置者

- 市町村
 - 港湾管理者
 - NPO団体
- ほか



支援内容

- みなとオアシス標章(シンボルマーク)の使用
- 国土交通省・地方整備局等のホームページ等による広報
- 道路地図への掲載や道路標識の設置の支援
- その他みなとの振興に関する各種支援



「みなとオアシス」における地域振興イベント

全国のみなとオアシス

